

大成ロテック 現場情報一元管理システム 進捗などウェブで共有

大成ロテックは、大型工事や特殊工事など社内での主要工事の概要や進捗などの情報をウェブ上で共有できる「T a



システム起動画面(個別工事選定)

aisei Rotec Platform(大成ロテック・プラットフォーム)」を開発し、試行運用を始めた。

同システムは、工事担当者が作成する工事概要書、施工計画書、実施予算書、工事工程表、現場状況写真、図面情報などの基本情報を特定のフォルダに格納して一元管理すること、工事支援に関わる本支社や工事事務所の関係者、工事担当者が適宜情報を確認できる。

格納したデータは、位置情報を図面から読み取ってウェブ上のバーチャル地球儀上で確認することも可能だ。蓄積した情報はデータベースとして活用でき、業務の負担軽減

と生産性向上に寄与することが期待される。

同システムは、同社技術部技術推進室が、東京都大の五艘隆志准教授をアドバイザーに迎えて2019年から開発を進めてきた。今回の試行運用を通じて、実装に向けた課題抽出と対応に取り組む。

今後は、3D表示も可能であるバーチャル地球儀の効果的な機能を活用し、BIM/CIMへの対応を含めたシステムの進化を図るとともに、将来的には建設機械や作業員ごとの移動データをIIoT(産業分野ごとのIIoT)によってセンシングし、自動で収集した「生産管理データ」を基にした重機や作業員の稼働状況のモニタリング、作業日報や工程管理の自動化などの実現を目指す。